

NPO 塾全協東日本ブロック主催現地研修会

東京の歴史を歩く会

～都立上野恩賜公園を歩く～

日時: 2018年4月8日(日)午後1:30～4:30(予定)

集合時間と場所: 午後1:30、JR 山手線日暮里(にっぽり) 駅南口改札口
(南口改札口は小さく、わかりにくいのでご注意ください。)

コース: 日暮里駅南口～紅葉坂～さくら通り～五重塔跡～谷中霊園～徳川慶喜の墓～寛永寺(根本中堂見学)～国際子ども図書館～黒田記念館(見学)～旧因州池田屋敷表門(鳥取藩池田家江戸上屋敷の正門)～輪王寺両大師堂～寛永寺輪王殿～旧寛永寺表門～野口英世像～ボードワン博士像～大噴水～小松宮像～グラント将軍記念植樹碑～五重塔～上野東照宮～上野大仏～寛永寺「時の鐘」～摺鉢山(前方後円墳)～天海僧正毛髪塔及び供養塔～王仁博士碑～清水観音堂～彰義隊墓所～西郷隆盛像～寛永寺総門の黒門跡～解散

*解散後、近くの「海鮮料理・薩摩魚鮮」で懇親会を開きます。希望者のみ実費でご参加ください。(3000円～4000円程度)

引率と説明: 沼田広慶(全国歴史研究会本部正会員)連絡先(090-8100-4279)

上野の歴史

1万年前、上野の不忍池一帯は海であった。この辺りは洪積層の台地で、奥東京湾に突きだした岬であった。その後、土地の隆起と海岸線の後退により不忍池は塩水池となったが、川の水が注がれ、淡水化して現在に至っている。

東叡山寛永寺は天海僧正の発願による徳川家の菩提寺。比叡山延暦寺が京都の東北に位置し鬼門封じとなっているのにならって、江戸城の東北に位置するこの場所に鬼門封じとして建立されたといわれる。寛永寺は寺領36万5千坪(120万平米)もあったが、幕末維新の際、上野の戦争(彰義隊と官軍との戦い)によってほとんどが焼失した。明治に入ってからオランダ人軍医のボードワン博士の言によって、明治6年、上野の山は日本の公園第1号として指定され、大正13年には恩賜公園となり現在に至っている。

公園には東京国立博物館、国立西洋美術館、国立科学博物館、恩賜上野動物園などの文化施設があり、東京大学や東京藝術大学も近くにある。

参加申し込み: 準備の都合上、4月6日(金)までに、直接、沼田までご連絡ください。

携帯:090-8100-4279 あるいは FAX047-364-7046

Email:numata@hokushinkan-s.jp(なるべくFAXかEmailをお願いします。)

なお、3月17日(土)～3月25日(日)の間は学年末の特別休業中のため、連絡がつかない時があります。ご注意ください。

*申し込みの際は、必ず携帯番号と、懇親会への参加・不参加を付記してください。よろしくお願ひ致します。